

## 2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2019年7月29日

上場会社名 ファナック株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6954 URL <https://www.fanuc.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山口 賢治  
 問合せ先責任者 (役職名) 広報部長 (氏名) 藤井 敬介 (TEL) 0555 (84) 5555  
 四半期報告書提出予定日 2019年8月8日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満四捨五入)

### 1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	134,634	△ 26.4	28,595	△ 47.5	32,063	△ 47.2	23,282	△ 47.9
2019年3月期第1四半期	182,835	8.5	54,493	7.9	60,762	9.0	44,724	9.5

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 13,503百万円(△69.0%) 2019年3月期第1四半期 43,495百万円(△4.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	120.75	—
2019年3月期第1四半期	230.73	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	1,507,347	1,344,245	88.7
2019年3月期	1,625,340	1,445,146	88.5

(参考)自己資本 2020年3月期第1四半期 1,337,098百万円 2019年3月期 1,437,775百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	598.19	—	404.92	1,003.11
2020年3月期	—				
2020年3月期(予想)		—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2019年3月期 第2四半期末配当金の内訳 普通配当252円87銭 特別配当345円32銭

(注) 2019年3月期 期末配当金の内訳 普通配当224円34銭 特別配当180円58銭

(注) 2020年3月期の第2四半期末および期末の配当金につきましては、公表が可能になった時点で速やかに開示する予定です。

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	264,400	△ 23.4	43,100	△ 56.2	49,100	△ 56.2	35,700	△ 56.3	185.59
通期	524,200	△ 17.5	71,300	△ 56.3	81,000	△ 55.8	60,300	△ 60.9	313.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

: 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P.8「3. 注記事項に関する情報 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期1Q	204,031,841株	2019年3月期	204,040,771株
2020年3月期1Q	12,125,934株	2019年3月期	10,210,522株
2020年3月期1Q	192,813,688株	2019年3月期1Q	193,837,377株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記述されている業績見通し等の将来に関する記述は、主要市場における製品の需給動向、競合状況、経済情勢その他に不透明な面があり、実際の業績は見通しと異なる可能性があることをご承知お願います。なお、2020年3月期の第2四半期末および期末の予想配当金につきましては、公表が可能になった時点で速やかに開示する予定です。

○ 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する説明 .....	2
(2) 連結財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
3. 注記事項に関する情報 .....	8
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	8
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	8
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する説明

当第1四半期における当社グループの業績は次のとおりです。

FA部門については、CNCシステムの主要顧客である工作機械業界の需要は、米中貿易摩擦の影響により中国、台湾において需要が落ち込んだほか、韓国も内需の減速を受け、低調に推移しました。欧州についても、中国向け輸出産業（主に自動車関係）で設備投資抑制の動きがあるなど減速傾向となっています。日本国内は、設備投資の一服感と中国向けを中心とした輸出の減速により、好調であった前年同期に比べると売上は減少しました。レーザについては、国内、海外において引き続きファイバレーザ発振器の拡販に努めました。これらの結果、FA部門全体の売上高は前年同期に比べ減少しました。

ロボット部門については、国内は自動車産業、一般産業ともに、設備投資は比較的高い水準で推移したものの、米州の自動車産業において設備投資の谷間が続いたほか、中国でも、自動車産業、一般産業とも、設備投資に慎重な動きが続きました。これらの結果、ロボット部門全体の売上高は前年同期に比べ減少しました。

ロボマシン部門については、ロボドリル（小型切削加工機）は、自動車部品関係を中心に拡販に努めたものの、IT関係の一時的な需要分が残っていた前年同期と比べると売上は落ち込みました。ロボショット（電動射出成形機）については、自動車部品、医療市場向けに拡販に努めましたが、売上は過去最高だった前年に比べると減少しました。ロボカット（ワイヤカット放電加工機）についても、中国を中心に売上が減少しました。

このようななか当社グループは、将来を見据え、短期的な事象に左右されず、長期的な視点に立った経営を続けるべく、「one FANUC」、「壊れない」「壊れる前に知らせる」「壊れてもすぐ直せる」および「サービス ファースト」をスローガンに掲げ、当社商品およびサービスを通じて、信頼性が高く効率的・先進的な生産体制をお客様が安心して構築・維持できるようにするための取り組みをグループ一丸となって推進しております。またIoTへの対応として、様々な企業が参加できるオープンプラットフォームである FIELD system (FANUC Intelligent Edge Link and Drive system) の機能拡張およびアプリケーション（パートナー企業製を含む）の充実を図るとともに、AI 技術の当社商品への適用等を進めております。また同時に、商品競争力の強化、セールス・サービス活動の強化、工場の自動化・ロボット化、業務の合理化に力を入れております。

当第1四半期における連結業績は、売上高が1,346億34百万円（前年同期比26.4%減）、経常利益が320億63百万円（前年同期比47.2%減）、四半期純利益が232億82百万円（前年同期比47.9%減）となりました。

なお、部門別の売上高につきましては、FA部門が435億1百万円（前年同期比28.5%減）、ロボット部門が471億3百万円（前年同期比19.5%減）、ロボマシン部門が220億83百万円（前年同期比47.4%減）、サービス部門が219億47百万円（前年同期比2.2%増）でした。

※ [当四半期決算に関する定性的情報] における「四半期純利益」は、損益計算書における「親会社株主に帰属する四半期純利益」を指します。

(2) 連結財政状態に関する説明

資産合計は、前年度末比 1,179 億 93 百万円減の 1 兆 5,073 億 47 百万円となりました。

負債合計は、前年度末比 170 億 92 百万円減の 1,631 億 2 百万円となりました。

純資産合計は、前年度末比 1,009 億 1 百万円減の 1 兆 3,442 億 45 百万円となりました。

なお当社は、当社の株主還元方針（2019年4月24日公表の2019年3月期決算短信に記載）に基づき、発行済株式総数の5%を超える自己株式（8,930株、88百万円）を2019年5月31日付で消却いたしました。（本消却に伴う純資産合計額への影響はありません。）

(3) 連結業績予想に関する説明

国家間等の貿易摩擦の影響を含む各国の関税政策や為替動向などの様々な不透明な要因から、総じて予断を許さない状況が続くものと思われまます。

現時点における連結業績予想は以下のとおりです。

## 第2四半期累計期間

(金額：百万円)

	前回発表予想 (2019年4月24日)	今回公表予想	増減率
売上高	266,400	264,400	△0.8%
営業利益	41,300	43,100	4.4%
経常利益	44,800	49,100	9.6%
当期純利益	31,200	35,700	14.4%

## 通期

(金額：百万円)

	前回発表予想 (2019年4月24日)	今回公表予想	増減率
売上高	536,900	524,200	△2.4%
営業利益	75,700	71,300	△5.8%
経常利益	84,700	81,000	△4.4%
当期純利益	62,300	60,300	△3.2%

注) 2019年7月から2020年3月までの期間における為替レートは、平均100円/ドル、115円/ユーロを想定しております。

2. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	607,155	473,078
受取手形及び売掛金	106,204	97,939
有価証券	15,000	55,000
商品及び製品	71,042	68,186
仕掛品	55,174	53,640
原材料及び貯蔵品	29,930	28,834
その他	24,302	10,320
貸倒引当金	△1,123	△1,053
流動資産合計	907,684	785,944
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	301,179	313,651
土地	145,885	145,663
その他（純額）	127,512	124,326
有形固定資産合計	574,576	583,640
無形固定資産	9,603	9,555
投資その他の資産		
投資有価証券	86,674	84,604
その他	47,259	44,058
貸倒引当金	△456	△454
投資その他の資産合計	133,477	128,208
固定資産合計	717,656	721,403
資産合計	1,625,340	1,507,347

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	36,567	32,977
未払法人税等	15,007	9,174
アフターサービス引当金	8,215	8,114
その他	75,278	66,652
流動負債合計	135,067	116,917
固定負債		
退職給付に係る負債	42,097	42,346
その他	3,030	3,839
固定負債合計	45,127	46,185
負債合計	180,194	163,102
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	69,014	69,014
資本剰余金	96,265	96,265
利益剰余金	1,380,439	1,325,147
自己株式	△91,040	△126,683
株主資本合計	1,454,678	1,363,743
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,111	9,456
為替換算調整勘定	△6,677	△17,536
退職給付に係る調整累計額	△19,337	△18,565
その他の包括利益累計額合計	△16,903	△26,645
非支配株主持分	7,371	7,147
純資産合計	1,445,146	1,344,245
負債純資産合計	1,625,340	1,507,347

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	182,835	134,634
売上原価	103,385	82,153
売上総利益	79,450	52,481
販売費及び一般管理費	24,957	23,886
営業利益	54,493	28,595
営業外収益		
受取利息	972	1,067
受取配当金	534	537
持分法による投資利益	3,515	2,259
為替差益	1,792	—
雑収入	622	868
営業外収益合計	7,435	4,731
営業外費用		
固定資産撤去費用	485	363
為替差損	—	747
雑支出	681	153
営業外費用合計	1,166	1,263
経常利益	60,762	32,063
税金等調整前四半期純利益	60,762	32,063
法人税、住民税及び事業税	14,597	5,924
法人税等調整額	1,330	2,532
法人税等合計	15,927	8,456
四半期純利益	44,835	23,607
非支配株主に帰属する四半期純利益	111	325
親会社株主に帰属する四半期純利益	44,724	23,282



四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	44,835	23,607
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,115	345
為替換算調整勘定	774	△11,892
退職給付に係る調整額	328	772
持分法適用会社に対する持分相当額	△1,327	671
その他の包括利益合計	△1,340	△10,104
四半期包括利益	43,495	13,503
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	43,445	13,540
非支配株主に係る四半期包括利益	50	△37

### 3. 注記事項に関する情報

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

国際財務報告基準を適用している子会社は、当第1四半期連結会計期間より、国際財務報告基準第16号「リース」(以下「IFRS第16号」という。)を適用しております。これにより、リースの借手は、原則としてすべてのリースを貸借対照表に資産および負債として計上することとしました。IFRS第16号の適用については、経過的な取扱いに従っており、会計方針の変更による累積的影響額を当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に計上しております。

なお、当該会計基準の適用が四半期連結財務諸表に及ぼす影響は軽微であります。

- (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、2019年4月24日開催の取締役会決議に基づき、自己株式1,923,000株の取得を行っております。この結果、単元未満株式の買取りによる増加等を含め、当第1四半期連結累計期間において、自己株式が35,643百万円増加し、当第1四半期連結会計期間末において自己株式は126,683百万円となっております。